

理工学部数理科学科のディプロマ・ポリシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service” を体現する世界市民」を育成することを使命としており、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学教育に通底するものとして位置づける。

そして自然科学の基本原則とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する理工学部の理念の下、理工学部数理科学科の学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1. [関心・意欲・態度] 自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

- (1) 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。
- (2) 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2. [知識・理解] 幅広い知識と深い専門性

- (1) 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。
- (2) 数理科学分野における基礎知識を体系的・構造的に理解している。
- (3) 数理科学分野における基礎的な技能を修得している。
- (4) 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。
- (5) 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3. [技能・表現] 実践的な学習技能とコミュニケーション力

- (1) 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。
- (2) 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4. [思考・判断] 課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部数理科学科のカリキュラム・ポリシー

理工学部数理科学科における授業科目を、総合教育科目と専門教育科目に大別する。総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、総合選択科目にて構成し、専門教育科目は必修科目、基礎科目、コンピュータ科目、発展科目)、専門選択科目にて構成する。各科目群については理工学部数理科学科ディプロマ・ポリシーに沿う形で以下の方針をもって実施する。

[総合教育科目]

「キリスト教科目」

初年次に担当し、本学の建学の精神であるキリスト教主義にもとづく人間形成によって、自らを律する強さ、倫理観、他者との協調性などの基本的な態度を身につけさせる。

「英語教育科目」

自然科学・科学技術分野における共通言語である英語を低学年次に担当する。自ら情報発信できるよう、総合的な英語コミュニケーション能力を修得させる。

「総合選択科目」

社会、文化、人間、自然科学・科学技術について、幅広い教養と視野を身につけさせる。

[専門教育科目]

「基礎科目」

主に低学年次に担当し、各専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「コンピュータ科目」

各専攻分野における基礎的な技能、コンピュータを活用する技能、および基礎知識を体系的・構造的に理解し論理的に思考する力を実験・演習・実習を通じて修得させる。

「発展科目」

主に高学年次に担当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「専門選択科目」

主に専攻分野以外の自然科学・科学技術などについて、幅広い教養と視野を養成し、各専攻分野の伸展となる知識を修得させる。

理工学部数理科学科 カリキュラム・マップ (概要)
(ディプロマ・ポリシーの項目とカリキュラム・ポリシーの科目群の主たる方針との対応表)

ディプロマ・ポリシーの項目 カリキュラム・ポリシーの科目群		1		2					3		4
		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	
総合教育科目	キリスト教科目	○									
	英語教育科目									○	
	総合選択科目			○							
専門教育科目	必修科目				○						
	基礎科目				○						
	コンピュータ科目					○			○		
	発展科目						○	○			○
	専門選択科目		○	○							

理工学部物理学科のディプロマ・ポリシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service” を体現する世界市民」を育成することを使命としており、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学教育に通底するものとして位置づける。

物理学科では理工学部の教育理念の下で、物理学の分野において、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤とした教育研究を行ない、人類の進歩に資する人材を輩出する。ここに、物理学科は学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1. [関心・意欲・態度] 自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

- (1) 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。
- (2) 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2. [知識・理解] 幅広い知識と深い専門性

- (1) 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。
- (2) 物理学分野における基礎知識を体系的・構造的に理解している。
- (3) 物理学分野における基礎的な技能を修得している。
- (4) 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。
- (5) 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3. [技能・表現] 実践的な学習技能とコミュニケーション力

- (1) 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。
- (2) 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4. [思考・判断] 課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部物理学科のカリキュラム・ポリシー

理工学部物理学科における授業科目を、総合教育科目と専門教育科目に大別する。総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、総合選択科目にて構成し、専門教育科目は物理系科目（卒業研究科目、コア科目、実験科目、選択科目）、数学系科目、専門選択科目にて構成する。各科目群については理工学部物理学科ディプロマ・ポリシーに沿う形で以下の方針をもって実施する。

[総合教育科目]

「キリスト教科目」

初年次に担当し、本学の建学の精神であるキリスト教主義にもとづく人間形成によって、自らを律する強さ、倫理観、他者との協調性などの基本的な態度を身につけさせる。

「英語教育科目」

自然科学・科学技術分野における共通言語である英語を低学年次に担当する。自ら情報発信できるよう、総合的な英語コミュニケーション能力を修得させる。

「総合選択科目」

社会、文化、人間、自然科学・科学技術について、幅広い教養と視野を身につけさせる。

[専門教育科目]

「物理系科目」

「卒業研究科目」

4年次に担当し、各専攻分野の学問的・技術的發展が社会、文化、人間等との様々な関連において持つ意味を理解させた上で、取り組むための課題を発見させ、これまでに培ったコミュニケーション力・知識・技能を用いて課題解決に向けて意欲的に取り組ませることにより、現代社会における問題解決力を修得させる。

「コア科目」

各専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「実験科目」

各専攻分野における基礎的な技能、コンピュータを活用する技能、および基礎知識を体系的・構造的に理解し論理的に思考する力を実験・演習・実習を通じて修得させる。

「数学系科目」

基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「専門選択科目」

主に専攻分野以外の自然科学・科学技術などについて、幅広い教養と視野を養成し、各専攻分野の伸展となる知識を修得させる。

理工学部物理学科 カリキュラム・マップ（概要）
（ディプロマ・ポリシーの項目とカリキュラム・ポリシーの科目群の主たる方針との対応表）

ディプロマ・ポリシーの項目 カリキュラム・ポリシーの科目群		1		2					3		4
		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	
総合教育科目	キリスト教科目	○									
	英語教育科目									○	
	総合選択科目			○							
専門教育科目	物理系科目	卒業研究科目	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		コア科目				○					
		実験科目				○	○	○		○	○
	数学系科目				○						
	専門選択科目				○	○	○		○	○	

理工学部先進エネルギーナノ工学科のディプロマ・ポリシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命としており、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学教育に通底するものとして位置づける。

そして自然科学の基本原則とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する理工学部の理念の下、理工学部先進エネルギーナノ工学科の学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1. [関心・意欲・態度] 自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

- (1) 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。
- (2) 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2. [知識・理解] 幅広い知識と深い専門性

- (1) 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。
- (2) 先進エネルギーナノ工学分野における基礎知識を体系的・構造的に理解している。
- (3) 先進エネルギーナノ工学分野における基礎的な技能を修得している。
- (4) 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。
- (5) 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3. [技能・表現] 実践的な学習技能とコミュニケーション力

- (1) 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。
- (2) 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4. [思考・判断] 課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部化学科のディプロマ・ポリシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命としており、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学教育に通底するものとして位置づける。

そして自然科学の基本原則とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する理工学部の理念の下、理工学部化学科の学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1. [関心・意欲・態度] 自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

- (1) 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。
- (2) 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2. [知識・理解] 幅広い知識と深い専門性

- (1) 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。
- (2) 化学における基礎知識を体系的・構造的に理解している。
- (3) 化学における基礎的な技能を修得している。
- (4) 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。
- (5) 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3. [技能・表現] 実践的な学習技能とコミュニケーション力

- (1) 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。
- (2) 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4. [思考・判断] 課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部化学科のカリキュラム・ポリシー

理工学部化学科における授業科目を、総合教育科目と専門教育科目に大別する。総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、総合選択科目にて構成し、専門教育科目は必修科目、選択必修科目（基礎科目、物理分析化学科目、有機無機化学科目）、専門選択科目にて構成する。各科目群については理工学部化学科ディプロマ・ポリシーに沿う形で以下の方針をもって実施する。

[総合教育科目]

「キリスト教科目」

初年次に担当し、本学の建学の精神であるキリスト教主義にもとづく人間形成によって、自らを律する強さ、倫理観、他者との協調性などの基本的な態度を身につけさせる。

「英語教育科目」

自然科学・科学技術分野における共通言語である英語を低学年次に担当する。自ら情報発信できるよう、総合的な英語コミュニケーション能力を修得させる。

「総合選択科目」

社会、文化、人間、自然科学・科学技術について、幅広い教養と視野を身につけさせる。

[専門教育科目]

「卒業研究科目」

4年次に担当し、各専攻分野の学問的・技術的発展が社会、文化、人間等との様々な関連において持つ意味を理解させた上で、取り組むための課題を発見させ、これまでに培ったコミュニケーション力・知識・技能を用いて課題解決に向けて意欲的に取り組ませることにより、現代社会における問題解決力を修得させる。

「実験科目」

化学における基礎的な技能、コンピュータを活用する技能、および基礎知識を体系的・構造的に理解し論理的に思考する力を実験・演習・実習を通じて修得させる。

「基礎科目」

主に低学年次に担当し、各専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「物理分析化学科目」

主に高学年次に担当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「有機無機化学科目」

主に高学年次に担当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「専門選択科目」

主に専攻分野以外の自然科学・科学技術などについて、幅広い教養と視野を養成し、各専攻分野の伸展となる知識を修得させる。

理工学部化学科 カリキュラム・マップ (概要)
(ディプロマ・ポリシーの項目とカリキュラム・ポリシーの科目群の主たる方針との対応表)

ディプロマ・ポリシーの項目 カリキュラム・ポリシーの科目群		1		2					3		4
		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	
総合教育科目	キリスト教科目	○									
	英語教育科目									○	
	総合選択科目			○							
専門教育科目	卒業研究科目		○						○		○
	実験科目				○	○			○		
	基礎科目				○						
	物理分析化学科目						○	○			
	有機無機化学科目						○	○			
	専門選択科目			○							

理工学部環境・応用化学科のディプロマ・ポリシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命としており、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学教育に通底するものとして位置づける。

そして自然科学の基本原則とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する理工学部の理念の下、理工学部環境・応用化学科の学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1. [関心・意欲・態度] 自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

- (1) 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。
- (2) 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2. [知識・理解] 幅広い知識と深い専門性

- (1) 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。
- (2) 環境・応用化学分野における基礎知識を体系的・構造的に理解している。
- (3) 環境・応用化学分野における基礎的な技能を修得している。
- (4) 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。
- (5) 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3. [技能・表現] 実践的な学習技能とコミュニケーション力

- (1) 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。
- (2) 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4. [思考・判断] 課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部環境・応用化学科のカリキュラム・ポリシー

理工学部環境・応用化学科における授業科目を、総合教育科目と専門教育科目に大別する。総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、総合選択科目にて構成し、専門教育科目は必修科目、選択必修科目（数学・物理科目、地学・生命・情報科目、基礎科目、発展科目）、専門選択科目にて構成する。各科目群については理工学部環境・応用化学科ディプロマ・ポリシーに沿う形で以下の方針をもって実施する。

〔総合教育科目〕

〔キリスト教科目〕

初年次に配当し、本学の建学の精神であるキリスト教主義にもとづく人間形成によって、自らを律する強さ、倫理観、他者との協調性などの基本的な態度を身につけさせる。

〔英語教育科目〕

自然科学・科学技術分野における共通言語である英語を低学年次に配当する。自ら情報発信できるよう、総合的な英語コミュニケーション能力を修得させる。

〔総合選択科目〕

社会、文化、人間、自然科学・科学技術について、幅広い教養と視野を身につけさせる。

〔専門教育科目〕

〔卒業研究科目〕

4年次に配当し、各専攻分野の学問的・技術的發展が社会、文化、人間等との様々な関連において持つ意味を理解させた上で、取り組むための課題を発見させ、これまでに培ったコミュニケーション力・知識・技能を用いて課題解決に向けて意欲的に取り組ませることにより、現代社会における問題解決力を修得させる。

〔数学・物理科目〕

主に低学年次に配当し、各専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

〔地学・生命・情報科目〕

主に低学年次に配当し、各専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

〔基礎科目〕

主に低学年次に配当し、各専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

〔発展科目〕

主に高学年次に配当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

〔専門選択科目〕

主に専攻分野以外の自然科学・科学技術などについて、幅広い教養と視野を養成し、各専攻分野の伸展となる知識を修得させる。

理工学部環境・応用化学科 カリキュラム・マップ（概要）
（ディプロマ・ポリシーの項目とカリキュラム・ポリシーの科目群の主たる方針との対応表）

ディプロマ・ポリシーの項目 カリキュラム・ポリシーの科目群		1		2					3		4
		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	
総合教育科目	キリスト教科目	○									
	英語教育科目									○	
	総合選択科目			○							
専門教育科目	卒業研究科目		○						○		○
	数学・物理科目				○	○					
	地学・生命・情報科目				○	○					
	基礎科目				○						
	発展科目						○	○	○		
	専門選択科目			○							

理工学部生命科学科のディプロマ・ポリシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service” を体現する世界市民」を育成することを使命としており、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学教育に通底するものとして位置づける。

そして自然科学の基本原則とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する理工学部の理念の下、理工学部生命科学科の学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1. [関心・意欲・態度] 自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

- (1) 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。
- (2) 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2. [知識・理解] 幅広い知識と深い専門性

- (1) 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。
- (2) 生命科学分野における基礎知識を体系的・構造的に理解している。
- (3) 生命科学分野における基礎的な技能を修得している。
- (4) 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。
- (5) 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3. [技能・表現] 実践的な学習技能とコミュニケーション力

- (1) 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。
- (2) 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4. [思考・判断] 課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部生命科学科のカリキュラム・ポリシー

理工学部生命科学科における授業科目を、総合教育科目と専門教育科目に大別する。総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、総合選択科目にて構成し、専門教育科目は必修科目、選択必修科目（基礎科目、発展科目、先端科目）、専門選択科目にて構成する。各科目群については理工学部生命科学科ディプロマ・ポリシーに沿う形で以下の方針をもって実施する。

【総合教育科目】

「キリスト教科目」

初年次に担当し、本学の建学の精神であるキリスト教主義にもとづく人間形成によって、自らを律する強さ、倫理観、他者との協調性などの基本的な態度を身につけさせる。

「英語教育科目」

自然科学・科学技術分野における共通言語である英語を低学年次に担当する。自ら情報発信できるよう、総合的な英語コミュニケーション能力を修得させる。

「総合選択科目」

社会、文化、人間、自然科学・科学技術について、幅広い教養と視野を身につけさせる。

【専門教育科目】

「卒業研究科目」

4年次に担当し、各専攻分野の学問的・技術的発展が社会、文化、人間等との様々な関連において持つ意味を理解させた上で、取り組むための課題を発見させ、これまでに培ったコミュニケーション力・知識・技能を用いて課題解決に向けて意欲的に取り組ませることにより、現代社会における問題解決力を修得させる。

「基礎科目」

主に1学年次に担当し、各専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「発展科目」

主に2学年次に担当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「先端科目」

主に3学年次に担当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「専門選択科目」

主に専攻分野以外の自然科学・科学技術などについて、幅広い教養と視野を養成し、各専攻分野の伸展となる知識を修得させる。

理工学部生命科学科 カリキュラム・マップ（概要）
（ディプロマ・ポリシーの項目とカリキュラム・ポリシーの科目群の主たる方針との対応表）

ディプロマ・ポリシーの項目 カリキュラム・ポリシーの科目群		1		2					3		4
		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	
総合教育科目	キリスト教科目	○									
	英語教育科目									○	
	総合選択科目			○							
専門教育科目	卒業研究科目		○					○	○	○	○
	基礎科目				○	○					
	発展科目						○	○			
	先端科目						○	○			
	専門選択科目			○							

理工学部生命医化学科のディプロマ・ポリシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命としており、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学教育に通底するものとして位置づける。

そして自然科学の基本原則とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する理工学部の理念の下、理工学部生命医化学科の学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1. [関心・意欲・態度] 自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

- (1) 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。
- (2) 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2. [知識・理解] 幅広い知識と深い専門性

- (1) 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。
- (2) 生命医化学分野における基礎知識を体系的・構造的に理解している。
- (3) 生命医化学分野における基礎的な技能を修得している。
- (4) 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。
- (5) 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3. [技能・表現] 実践的な学習技能とコミュニケーション力

- (1) 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。
- (2) 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4. [思考・判断] 課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部生命医化学科のカリキュラム・ポリシー

理工学部生命医化学科における授業科目を、総合教育科目と専門教育科目に大別する。総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、総合選択科目にて構成し、専門教育科目は必修科目、選択必修科目（基礎科目、発展科目、先端科目、生命科学科目）、専門選択科目にて構成する。各科目群については理工学部生命医化学科ディプロマ・ポリシーに沿う形で以下の方針をもって実施する。

【総合教育科目】

「キリスト教科目」

初年次に担当し、本学の建学の精神であるキリスト教主義にもとづく人間形成によって、自らを律する強さ、倫理観、他者との協調性などの基本的な態度を身につけさせる。

「英語教育科目」

自然科学・科学技術分野における共通言語である英語を低学年次に担当する。自ら情報発信できるよう、総合的な英語コミュニケーション能力を修得させる。

「総合選択科目」

社会、文化、人間、自然科学・科学技術について、幅広い教養と視野を身につけさせる。

【専門教育科目】

「卒業研究科目」

4年次に担当し、各専攻分野の学問的・技術的発展が社会、文化、人間等との様々な関連において持つ意味を理解させた上で、取り組むための課題を発見させ、これまでに培ったコミュニケーション力・知識・技能を用いて課題解決に向けて意欲的に取り組ませることにより、現代社会における問題解決力を修得させる。

「基礎科目」

主に低学年次に担当し、各専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「発展科目」

主に高学年次に担当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「先端科目」

主に高学年次に担当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「専門選択科目」

主に専攻分野以外の自然科学・科学技術などについて、幅広い教養と視野を養成し、各専攻分野の伸展となる知識を修得させる。

理工学部生命医化学科 カリキュラム・マップ（概要）
（ディプロマ・ポリシーの項目とカリキュラム・ポリシーの科目群の主たる方針との対応表）

ディプロマ・ポリシーの項目 カリキュラム・ポリシーの科目群		1		2					3		4
		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	
総合教育科目	キリスト教科目	○									
	英語教育科目									○	
	総合選択科目			○							
専門教育科目	卒業研究科目		○					○		○	○
	基礎科目			○					○		
	発展科目				○				○		
	先端科目					○	○				
	専門選択科目			○							

理工学部情報科学科のディプロマ・ポリシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命としており、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学教育に通底するものとして位置づける。

そして自然科学の基本原則とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する理工学部の理念の下、理工学部情報科学科の学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1. [関心・意欲・態度] 自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

- (1) 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。
- (2) 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2. [知識・理解] 幅広い知識と深い専門性

- (1) 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。
- (2) 情報科学分野における基礎知識を体系的・構造的に理解している。
- (3) 情報科学分野における基礎的な技能を修得している。
- (4) 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。
- (5) 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3. [技能・表現] 実践的な学習技能とコミュニケーション力

- (1) 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。
- (2) 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4. [思考・判断] 課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部情報科学科のカリキュラム・ポリシー

理工学部情報科学科における授業科目を、総合教育科目と専門教育科目に大別する。総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、総合選択科目にて構成し、専門教育科目は必修科目、選択必修科目（情報科学実習科目、人間システム工学実習・実験科目、基礎科目、発展科目、人間システム工学系科目）、専門選択科目にて構成する。各科目群については理工学部情報科学科ディプロマ・ポリシーに沿う形で以下の方針をもって実施する。

〔総合教育科目〕

「キリスト教科目」

初年次に配当し、本学の建学の精神であるキリスト教主義にもとづく人間形成によって、自らを律する強さ、倫理観、他者との協調性などの基本的な態度を身につけさせる。

「英語教育科目」

自然科学・科学技術分野における共通言語である英語を低学年次に配当する。自ら情報発信できるよう、総合的な英語コミュニケーション能力を修得させる。

「総合選択科目」

社会、文化、人間、自然科学・科学技術について、幅広い教養と視野を身につけさせる。

〔専門教育科目〕

「必修科目（卒業研究科目を除く）」

低学年時に配当し、専攻分野において必須の基礎的な知識と技能を講義・実習を通じて習得させる。

「卒業研究科目」

4年次に配当し、各専攻分野の学問的・技術的發展が社会、文化、人間等との様々な関連において持つ意味を理解させた上で、取り組むための課題を発見させ、これまでに培ったコミュニケーション力・知識・技能を用いて課題解決に向けて意欲的に取り組ませることにより、現代社会における問題解決力を修得させる。

「情報科学実習科目」

情報科学分野における基礎的な技能、コンピュータを活用する技能、および基礎知識を体系的・構造的に理解し論理的に思考する力を実験・演習・実習を通じて修得させる。

「人間システム工学実習・実験科目」

人間システム工学分野における基礎的な技能、コンピュータを活用する技能、および基礎知識を体系的・構造的に理解し論理的に思考する力を実験・演習・実習を通じて修得させる。

「基礎科目」

主に低学年次に配当し、専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「発展科目・人間システム工学系科目」

主に高学年次に配当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「専門選択科目」

主に専攻分野以外の自然科学・科学技術などについて、幅広い教養と視野を養成し、専攻分野の伸展となる知識を修得させる。

理工学部情報科学科 カリキュラム・マップ（概要）
（ディプロマ・ポリシーの項目とカリキュラム・ポリシーの科目群の主たる方針との対応表）

ディプロマ・ポリシーの項目 カリキュラム・ポリシーの科目群		1		2					3		4
		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	
総合教育科目	キリスト教科目	○									
	英語教育科目								○		
	総合選択科目			○							
専門教育科目	必修科目（卒業研究科目を除く）				○	○			○		
	卒業研究科目		○					○			○
	情報科学実習科目				○	○			○		
	人間システム工学実習・実験科目						○				
	基礎科目				○						
	発展科目・人間システム工学系科目						○	○			
	専門選択科目			○							

理工学部人間システム工学科のディプロマ・ポリシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service” を体現する世界市民」を育成することを使命としており、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学教育に通底するものとして位置づける。

そして自然科学の基本原則とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する理工学部の理念の下、理工学部人間システム工学科の学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1. [関心・意欲・態度] 自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

- (1) 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。
- (2) 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2. [知識・理解] 幅広い知識と深い専門性

- (1) 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。
- (2) 人間システム工学分野における基礎知識を体系的・構造的に理解している。
- (3) 人間システム工学分野における基礎的な技能を修得している。
- (4) 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。
- (5) 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3. [技能・表現] 実践的な学習技能とコミュニケーション力

- (1) 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。
- (2) 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4. [思考・判断] 課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部人間システム工学科のカリキュラム・ポリシー

理工学部人間システム工学科における授業科目を、総合教育科目と専門教育科目に大別する。総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、総合選択科目にて構成し、専門教育科目は必修科目、選択必修科目（人間システム工学実習・実験科目、情報科学実習科目、基礎科目、発展科目、情報科学系科目）、専門選択科目にて構成する。各科目群については理工学部人間システム工学科ディプロマ・ポリシーに沿う形で以下の方針をもって実施する。

【総合教育科目】

「キリスト教科目」

初年次に配当し、本学の建学の精神であるキリスト教主義にもとづく人間形成によって、自らを律する強さ、倫理観、他者との協調性などの基本的な態度を身につけさせる。

「英語教育科目」

自然科学・科学技術分野における共通言語である英語を低学年次に配当する。自ら情報発信できるよう、総合的な英語コミュニケーション能力を修得させる。

「総合選択科目」

社会、文化、人間、自然科学・科学技術について、幅広い教養と視野を身につけさせる。

【専門教育科目】

「必修科目（卒業研究科目を除く）」

低学年時に配当し、専攻分野において必須の基礎的な知識と技能を講義・実習を通じて習得させる。

「卒業研究科目」

4年次に配当し、各専攻分野の学問的・技術的発展が社会、文化、人間等との様々な関連において持つ意味を理解させた上で、取り組むための課題を発見させ、これまでに培ったコミュニケーション力・知識・技能を用いて課題解決に向けて意欲的に取り組ませることにより、現代社会における問題解決力を修得させる。

「人間システム工学実習・実験科目」

人間システム工学分野における基礎的な技能、コンピュータを活用する技能、および基礎知識を体系的・構造的に理解し論理的に思考する力を実験・演習・実習を通じて修得させる。

「情報科学実習科目」

情報科学分野における基礎的な技能、コンピュータを活用する技能、および基礎知識を体系的・構造的に理解し論理的に思考する力を実験・演習・実習を通じて修得させる。

「基礎科目」

主に低学年次に配当し、専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「発展科目・情報科学系科目」

主に高学年次に配当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「専門選択科目」

主に専攻分野以外の自然科学・科学技術などについて、幅広い教養と視野を養成し、専攻分野の伸展となる知識を修得させる。

理工学部人間システム工学科 カリキュラム・マップ（概要）
（ディプロマ・ポリシーの項目とカリキュラム・ポリシーの科目群の主たる方針との対応表）

ディプロマ・ポリシーの項目 カリキュラム・ポリシーの科目群		1		2					3		4
		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	
総合教育科目	キリスト教科目	○									
	英語教育科目									○	
	総合選択科目			○							
専門教育科目	必修科目（卒業研究科目を除く）				○	○				○	
	卒業研究科目		○						○		○
	人間システム工学実習・実験科目				○	○				○	
	情報科学実習科目						○				
	基礎科目				○						
	発展科目・情報科学系科目						○	○			
	専門選択科目			○							